

【From Kobe 2019年 年の初めに】 迎春

by Mutsu Nakanishi

2019 迎春の便り 本年もよろしくお祈りします

収録：【2017年年初の資料再録】「心の故郷「縄文」と「鉄」に思いを馳せて」ほか



和鉄の故郷 古代鉄の王国滋賀県湖北 伊吹山西麓 古代たたら郷 旧坂田郡 米原市伊吹 & 長浜市西黒田地区

堂々とした伊吹山の姿とともに坂田の金時 桃太郎田生誕の地の伝承が残っています。

「和鉄の道・Iron Road」<古代たたら郷 湖北 伊吹山西麓 たたら郷に眠る「金太郎」伝承 walk>

<http://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/iron14/1812ibuki00.htm>

「鉄」に携わって約50年 75歳 後期高齢者の仲間入りですが、まだまだ、好奇心いっぱい 元気に歩けることに感謝しつつ、相変わらず、気の向くまま、足の向くまま元気に 風来坊・Country Walk を楽しんでいます。

物忘れや頭の回転力・俊敏さの衰えはいかんともしがたしですが、多くの人たちに支えられ、孫たちに振り回されることも多いのですが、家族ともども元気に暮らしています。

皆様のご健康とご多幸を お祈り致します
仲間の元気を活力に!! 無理せず お互い元気にと
本年もよろしくお祈り致します
2019年 元旦

by Mutsu Nakanishi from Kobe

◆ 2019年 年のはじめに

日本人の心の故郷 「縄文」・そして太古から国土・海を豊かにしてきた「鉄」に思いをはせて
・ 2017年年初【和鉄の道・Iron Road】に掲載した小文。色あせぬ思いに再度持ち出しました。
・ 心も新たに 年のはじめの思い 言葉足らずですが、お許しください。
私がよく口にする「縄文帰り」・「日本人の心」、そして この変革の時代に新しい顔を見せる「鉄」

生命をつかさどる元素文明を支える元素として「鉄」がなければ人類は生きてゆけない
溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光り「肌光」その輝きの中に燦然と輝く「鉄」と人類の知恵の数々
人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道・知恵が「他人を思いやる心」
かつて日本には 1万年の長きにわたって平和な社会を持続した形成してきた時代があった
日本人の心のふるさとといわれる「縄文」 そのエンジンは「縄文の心・他人を思いやる心」だった
「鉄」と「縄文の心」 激変 の今 時代を生き抜く唯一のエンジンである
現代社会においてはしばしば「なまっちよらい」と呼ばれ、切り捨てられてきた「心」
でも 一旦危機災害に直面した時には 誰しもがその力強さに心打たれる「心」
「鉄」も今 激変する時代の中で、新しい姿を見せ、新しい進路を示し始めた。
「鉄は国家なり」の「鉄」から「豊かな海を育てる豊し 鉄」・「地球温暖化を軽減するかもしれない鉄」へ



約70億人いる現代人のルーツをたどると

「我々は約10万年前 東アフリカにいた小さな集団のたった一人の女性の子孫」

人類はこのたった一人の女性の子孫という綱渡りの細い道でつながり、

今約70億を超える繁栄を謳歌している。

この間 繁栄を極めた幾多の原人祖先がありながら、苦難の道乗り越えられず、他はすべて絶滅している。

地殻変動活発化の時期にさしかかた今、現代人が引き起こした地球環境変化による異常気象も加わり、
地球上どこにいても 巨大災害がわがにも降りかかる

「今まで経験したことのない想定外の災害」と他人ごとではすまされぬ時代

一方、今まで謳歌してきた高度成長・高度情報化社会を支えてきたグローバル化・効率・大量消費を
追い求めた国際金融中心の情報化社会のほころびが随所に。

また、戦争の脅威は一向に去らず、格差の増大と弱者切り捨て 一握りの富裕層と大多数の貧困層への
2極分化が進み、出口は見つからずますます幸福感が遠のいてゆく。

望むと望まざるにかかわらず、躍動の時代から 成熟社会・人口減少の「激変の時代」へ
人類が幾たびも経験してきた絶滅の厳しい淵に立っている。

人類が困難を生き抜いてきた力それは「仲間を大切に思う心の進化」と「集団の協力」

約1万年の長きにわたって永続した日本の縄文はその実証例

幼くして歩けぬ障害をもった少女が、年老いるまで

集落の人たちに見守られ、生活を共にしてきた例が見つかる。

「心優しき縄文人」「日本人の心の故郷」と言われる所以である。

また、「地球は鉄の惑星 もし 鉄が地球になかば、地球の生命体も生命を維持できず、存在しえない。
動物の血液中の鉄・植物の光合成にも鉄が関与しらせている。

山海の動植物の生態系も また「鉄」により、維持されている。

縄文の森を含め、太古の昔から、日本列島の沿岸には豊かな山・森があり、
最近「沿岸の山や森が豊かな海を育てる」「山は海の恋人」耳にするようになったが、
山に含まれている鉄分が森の植物によって、水に溶けこむ鉄となって、川を下り、豊かな海を育てる。
魚貝や海産物の資源の形成・生態系の循環には豊かな山や森の存在が欠かせぬことが明らかになっている。

ここでも「他人を思う心」・「集団の協力」をエンジンにした地方自立循環型経済創生・豊かな海や森の
資源開発が進められている。

鉄の惑星 激変する危機を生き抜くエンジンは「他人を思いやる心」

幸福への岐路にある今 スピード・情報過多の情報社会の流されず、自らをじっくり考えよう。

そこに地球に生きる仲間みんなの共存再生の道がある。

「心優しき縄文人」「分かち合い」の多様性 そして 沖縄には「命こそ宝」の言葉もある。

終活が頭にちらつく我々だからこそその役割もあると信じて今を前向いて

わが道をゆく God Be With You!!

また、本年こそ日本の縄文に 世界遺産の道が開かれますよう 期待を込めて

【関連の和鉄の道】

1. 「利他的精神」について 朝日新聞天声人語にこんな記事が・・・
[競争社会から成熟社会へ 日本に必要なのは「心の優しさ」では](#) 2014.6.1.
2. [NHK「ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」](#) NHK 取材班「Human ヒューマン」角川書店 2012.4.5.
3. [日本人の心の故郷「縄文」を世界の人たちに知ってもらいたい](#)
一万年も平和で豊かな生活が続いた時代 世界に類のない日本の「縄文」 そのエンジンは「他人を思いやる心」
日本人の心の故郷「縄文」北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に
4. 「岩波の科学ライブラリー「鉄学 137億年の宇宙誌」を読んで 2010.3.5.
[地球誕生から約46億年 鉄の歴史と役割にびっくり](#)
5. 雑誌「岳人」2016年2月号掲載 第18回「鉄の誘い」
[皇山重篤氏「鉄の誘い」 山と海の出逢いつながりと恵みを巡る旅](#) 2016.3.16.

ホームページ更新時 心と想う時代の流れから取り残されている疎外感・・・昨年以上になお一層。

でも 愚痴はいうまい。老い行く中で、頭にあるのは「平和」・「穏やかな暮らし」のこと。

でも 今年も薄っぺらな高度情報社会への疑問が、私ばかりでなく、多くの人から語られるようになった。

日本の危機に対する叫び。でも それが政権・経済のリーダー層に届かない。

自分の成功体験と仲間頼みに縋りつく日本のリーダー層。うすっぺらな日本の情報化社会等々が見え隠れ。

今年も続く傲慢・独りよがり、アメリカ追従の仲間政治。技術立国日本がもろくも崩れ行く中、日本が国際社会から取り残され、幸福感が日に日に遠のいてゆく。一方 東京や大阪そして神戸の街の真ん中をニコニコ顔で歩く幸福に満ちた大勢の外国人たち。TVやマスコミ 政治家がまくしたてる言葉と現実の落差のいかに大きいことか……

自分の立つ位置をはっきりして、自分でしっかり考えないと一人取り残されてしまう。

前向いて平和の叫び・安定な暮らしを訴え続けたい。

薄っぺらな情報社会からの脱却に一度 耳を傾けてほしいと。今一度 日本の現実に眼をむけねばと。


平成7年1月17日 午前5時46分 阪神淡路大地震
阪神・淡路大震災が発生し、私たちの大切なものを数多く奪っていきました。
また、初めてルミナリエの灯がともった神戸の夜の感激も
あの震災から24年忘れない わすれまい 神戸の街の記憶を

神戸ルミナリエ 今年もたくさんの笑顔にであえました
ルミナリエの光の環の中で、ともに集えたことに感謝し、
ともに生きるありがたさと平和な暮らしを話す



018.128. 神戸ルミナリエ

● **平和を願って 決意も新たに!!**



へいわってなにか。ほくは、かんがえたよ。
ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎのんびり
あるいてる。ちょうめいそうがたくさんはえ、
よなくにうまが、ヒヒーンとなく。
みんなのこころから、へいわがうまれるんだね。
これからも、ずっとへいわがつづくように、
ほくも、ほくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

◆ 安里有生君の詩 (2013.6.23.発表当時小学1年生)

「へいわって すてきだね」

この願いもいつも心に響く。

平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう

国の大きな転換点 今 声を上げねば !!

平和を今 自分の頭で考えよう

老齡の身には 厳しい激動の時代 お互い笑顔で 日々新た
 今できることを精一杯 無理せずゆっくりと
 .「まあええか 元気だして行こう」と励まして 心は行ったり来たりですが、好奇心さえあれば……
 また、ジョージ カーリンの「ストレスをためずに100まで」の言葉もうれしい。
 なかなかむづかしい時代。 ジョージ・カーリンの名言「老いを楽しく生きるために」
 それだけに心に響く。

多くの人にささえられながらも
 また、1年 本当に感謝です
 頭も回らず、更新不定期になって
 いますが、まだまだ、知りたい事多し。

後期高齢者になった本年、心も新た
 神共に居まして
 変えられるものを 変える「勇気」
 変えられないものを 受け容れる「心の静けさ」
 そして、両者を見分ける「叡智」を

ニーバーの祈り より

God be With you !! と祈る

また、困難の中に居られる方々に
 いつも 我が身に感謝しつつも、いつも思いをはせて、エール!! を送っています。
 「忘れまい 忘れないで。 仲間がいる . 暖かい希望の輪がつながっていることを」
 日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと

まだまだ、好奇心もある。毎日健康で動ける我が身に感謝しつつ
 この激闘の時代を元気に前向いて わがみちをゆくと。
 本年もよろしくおねがいします。

仲間がいる 仲間の元気を活力に!!
 お互い 無理せず元気に前向いて 今日も一日 Good Day!
 まだ好奇心もある 我が身の健康に感謝しつつ、また 一年
 互いスクラム組んで 前むいて 老いを笑顔で
 God Be With You!!

2019.1.1. Mutsu Nakanishi From Kobe

《 いつまでも若くいるコツ 》 by ジョージ カーリン

1. 年齢、体重、身長など、どうでもいい数字は気にしないこと こんな事は医者に任せましょう。そのために医療費を払っているのですから。
2. 元気な友達とだけ付き合うこと 愚痴しか言わない人といると、こちらの気持ちも暗くなります。
3. 生涯学習あるのみ コンピュータ、工芸、ガーデニング、ハム無線、なんでもよいので学ぶ姿勢を持ちましょう。脳を怠けさせない事。怠けた心には、衰えという悪が宿ります。
4. 単純な事を楽しみましょう
5. 沢山、長く、大きな声で、お腹が痛くなるくらい笑いましょ
6. 悲しみ、耐えて、そしてまた進む 涙も出るでしょう。しかし一生涯付き合ってくれるのは、自分自身です。命ある限り、自分の人生を歩みましょう。
7. 好きなものに囲まれて暮らしましょう 家族、ペット、思い出の品、音楽、植物、趣味、何でもいからです好きなものに囲まれて暮らしましょう。家は自分の居心地の良い場所なのでから。
8. 体を大切に！ 今健康ならそれを維持し、悪いなら、改善に努めそれが無理なら、助けを求めましょう。
9. 後悔しないこと ショッピング、隣町、外国、とにかく後悔する気持ちを忘れさせてくれる場所に出かけましょう。
10. どんな時でも、大切な人に「愛している」と伝えましょ

そして忘れてはいけない事： 人生とは、自分が息を吸う数ではなく息を吐く瞬間で測定するものです。充実した毎日を生きましょ!



2018. 12. 8. 花園 トップリーグ 神鋼-トヨタ戦



2018. 12. 8. 花園 神鋼-トヨタ戦